



目標—指導—評価の一体化のための学習評価



# 小学校社会のポイント



小学校社会における単元の学習評価について、「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方及び単元の目標を踏まえた単元の評価規準の作成から、評価の総括までの一連の流れを具体的な事例をもとに説明します。  
※ここでは、内容のまとまり「人々の健康や生活環境を支える事業」、単元(例)「廃棄物を処理する事業」を取り上げます。



## I 単元の評価規準を作成する流れ

**[Step1]** 学習指導要領「第4学年の目標及び内容 2内容 (2) 人々の健康や生活環境を支える事業」(内容のまとまり)の記載事項を確認します。

知識及び技能	思考力,判断力,表現力等	学びに向かう力,人間性等
(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。 (イ) 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解すること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。	(ア) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。 (イ) 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現すること。	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

**[Step2]** 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。</li> <li>廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</li> <li>見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。</li> <li>処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の健康や生活環境を支える事業について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</li> </ul>

**[Step3]** 単元を構成します。

内容のまとまり	単元(例)
第4学年 (2) 「人々の健康や生活環境を支える事業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元「飲料水を供給する事業」</li> <li>単元「廃棄物を処理する事業」</li> </ul>

小学校の社会科においては多くの場合、学習指導要領に示された「内容のまとまり」は、複数の内容に分かれ、その内容ごとに単元を構成します。

**[Step4]** 単元の目標を作成します。

単元名 「ごみを処理する事業」

学習指導要領解説等を参考に、各学校において授業で育成を目指す資質・能力を明確にします。  
※ここでは学習過程を明確にしたり、「見方・考え方」の働かせ方を示したりするために、指導者の立場から作成しています。

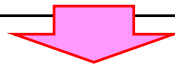
### I 単元の目標

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解することができるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。



**[Step5] 単元の評価規準を作成します。**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>※「～を調べ、～まとめ、～理解している」などと知識と技能を関連付けて評価規準を作成します。</p> <p>※知識には、資料などで調べて分かる「社会的事象についての<b>具体的知識</b>」と、調べてまとめたものを基にして考えて分かる「汎用性のある<b>概念的な知識</b>」があります。</p> <p>①調べて、必要な情報を集め、読み取り、社会的事象について具体的に理解しているか。</p> <p>②調べたことを文などにまとめ、社会的事象の特色や意味などを理解しているか。</p>	<p>※思考・判断・表現は一体のものとして評価規準を作成します。</p> <p>※「～着目して、問いを見だし、～考え表現する」という<b>追究場面における評価</b>と、「～比較・関連付け、総合などして、～考えたり、学習したことを基にして、<b>選択・判断したりして表現する</b>」という<b>解決場面における評価</b>について、評価規準を作成します。</p> <p>①社会的事象に着目して、問いを見だし、社会的事象の様子について考え表現しているか。</p> <p>②比較・関連付け、総合などして社会的事象の特色や意味を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現しているか。</p>	<p>※資質・能力を身に付けることに向けた<b>粘り強い取組</b>を行おうとする側面と、<b>粘り強い取組を行う中で自らの学習を調整しようとする側面</b>について、評価規準を作成します。</p> <p>※学習成果を基に、<b>生活の在り方やこれからの社会の発展について考えようとする学習状況</b>を捉える評価規準を作成します。</p> <p>①社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか。</p> <p>②よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているか。 (単元によっては設定できません)</p>



**2 単元の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p>	<p>①処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見だし、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。</p> <p>②廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。</p>

**II 指導と評価の計画を立てる**

学習評価は、指導の改善に生かすことに重点を置いて行います。単元の中で、学習状況を適切に把握できる場면을精選します。

**3 指導と評価の計画 (全10時間)**

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

過程	時間	ねらい	○主な活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】	
つかむ	1	たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくることができるようにする。	○家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくる。 ・家や学校、市(町)から出るごみの量 ・ごみの種類や出し方 ・学習問題の設定	□グラフ「ごみの量や種類」(家・学校) □グラフ「市のごみの量」 □表「ごみの分別表」 □写真「ごみステーション」「ごみ収集車」「清掃工場やリサイクルセンター」	発言内容やノートの記述内容から「処理の仕組みや再利用などに着目して、問いを見だしているか」を評価する。 【思考・判断・表現①】	
	ごみの処理にたずさわる人々は、たくさんのごみをどのようにして処理しているのでしょうか。					
	2	学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようになる。	○学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。 ・学習問題解決に向けた予想 ・学習計画の立案 清掃工場の見学 リサイクルセンター調べ	□学習計画表	発言内容、ノートの記述内容や学習計画表から「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度①】	
3・4	見学・調査したり資料で調べたりして、清掃工場が燃えるごみを処理する様子を調べることができるようにする。	○清掃工場が燃えるごみを処理する様子を見学・調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・清掃工場が燃えるごみを処理する仕組み ・清掃工場の仕事の工夫や苦勞	□パンフレット「清掃工場」 □清掃工場の方の話	ノートや見学カードへの記述内容から「必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。 【知識・技能①】		

追究する	5	資料を活用し、リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を調べることができるようにする。	○リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を各種資料で調べる。 ・燃えないごみ、資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組み ・リサイクルセンターの仕事の工夫や苦勞	□パンフレット「リサイクルセンター」 □図「リサイクルの仕組み」 □文章資料「リサイクルセンターの方の話」	ワークシートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。 【知識・技能①】
	6	見学・調査したり資料で調べたりしたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができるようにする。	○これまで調べてきたことをまとめ、さらに調べるべきことについて話し合う。 【まとめること】 ・ごみ処理の仕組みや経路 ・ごみ処理に関わる人々の働き 【さらに調べるべきこと】 ・灰の処理に関する問題	□これまでに活用してきた資料 □ノート □実物「灰」	ノートの記述内容や学習計画表から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度①】
	7	市(町)が行っているごみ処理問題の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。	○市(町)がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・市(町)が現在のごみ処理問題を解決している様子 ・市(町)がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子	□文章資料「市役所の方の話」 □写真「昔と今のごみ処理の様子」 □写真「最終処分場」	ノートの記述内容から「現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。 【思考・判断・表現①】
まとめる	8	調べたことを基に学習問題について話し合い、ごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができるようにする。	○学習問題について話し合い、ごみを処理する事業の果たす役割について考える。 ・ごみ処理事業の役割についての自分の考え	□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート	ノートの記述内容や発言内容などから「学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。 【思考・判断・表現②】
	9	調べたことを基に、学習問題について図や文にまとめることができるようにする。	○学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係などについて図や文にまとめる。 ・学習問題に対するまとめ。	□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート	ノートの記述内容から「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。 【知識・技能②】
	10	様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力できることは何か考えようとする態度を養う。	○様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何か考え、発表し合う。 ○ごみを減らすために自分たちにできることについて、ノートに自分なりの考えをまとめる。 ・ごみを減らす呼びかけおよびその理由 ・リサイクル法 ・世界のごみ処理の様子 ・ごみを減らすために自分たちが協力できること	□文章資料「ごみ減量に関する様々な取組」「ごみの輸出」 □グラフ「一人あたりのごみの焼却量」「世界の焼却炉の数」	ノートの記述内容や発言内容から「学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり、選択・判断したりして表現しているか」を評価する。 【思考・判断・表現②】  ノートの記述内容から「単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度②】

### Point!

※児童一人一人の学習状況を把握し、指導に生かすための工夫

- ・児童一人一人の学習状況を把握して、指導に生かすためには、「どのような評価資料から、どのような具体的な姿を捉えるのか」という評価方法を明確にしておく必要があります。そのため、「○○(評価資料)から、『○○しているか』を評価する」という記述にしています。
- ・「○○しているか」という姿を具体的に想定しておくことで、「努力を要する」=「○○していない」と評価せざるを得ない児童への指導の手立てを明確にすることができます。

※評価したことを記録に残す場面を明示します。

- ・指導した結果としての学習状況を記録に残すことは、観点別の評価結果を総括する際に必要です。
- ・単元を見通し、目標の実現状況が児童の反応から顕著に見られる場面を明らかにします。(網掛け部分)

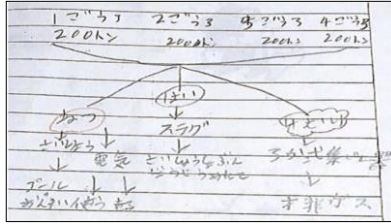
### Ⅲ 評価の実際と指導の改善



#### (例) 第3・4時 【知識・技能①】

\*U児の見学カードに記入されていた主な事項と見学カード一部抜粋(④焼却炉について)

- ①ごみの計量器について
- ②プラットホームについて
- ③ごみピットとごみクレーンについて
- ④焼却炉について
- ⑤ボイラーについて
- ⑥灰溶融炉について



\*M児の見学カード記入内容

- ・プラットホーム ごみを処理する場所
- ・ボイラー 焼却炉
- ・ごみピット ごみをためておくところ
- ・灰は1600度～1800度で燃やす
- ・働く人の思い 安全にごみを処理する
- ・クレーンがかっこよかった。

U児の見学カードには、燃えるごみが処理される仕組みや順番について見学に行き見て聞いた内容が事項ごとに具体的に記述されていた。加えて熱、灰、煙の流れについても燃えるごみを処理する仕組みについて説明が記述されていた。以上のことから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。

M児の見学カードには、見学場所の様子は記述されているが、燃えるごみを処理する仕組みについては断片的な記述にとどまることから「努力を要する」状況(C)と判断した。そこで、燃えるごみを処理する仕組みについてM児に質問して整理を促したり、パンフレットや他の児童がまとめたものを活用したりして、学習を補った。

### Ⅳ 観点ごとに総括的な評価を行う

**Point!**



※評価したことを記録に残す場面では、「十分満足できる」状況(A)、「おおむね満足できる」状況(B)、「努力を要する」状況(C)の3段階で評価します。それ以外の評価場面では、「努力を要する」状況(C)と判断した児童への指導や支援を行うことを重視します。

※「知識・技能」と「思考・判断・表現」については、単元後半において行った評価結果をより重視します。単元を通して継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況であると、捉えることができるからです。

※また、単元における観点ごとの評価規準は、小学校社会の場合①と②の2つずつ設ける形を基本としています。「知識・技能」と「思考・判断・表現」については、概念的な知識の獲得や課題解決場面に関わる、評価規準②で評価資料を集めることが多くなります。

※ただし、単元によっては「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価規準②が設定できない場合もあります。他の観点においても、単元前半や評価規準①で評価資料を集めてはならないわけではありません。資質・能力を意図的・計画的に養うように指導し、その結果を評価資料とする必要があります。

観点	時間	評価規準	Y児	U児	M児
知識・技能	3、4	【知識・技能①】			
	5	【知識・技能①】			
	9	【知識・技能②】	A	B	B
		<b>単元の総括的な評価</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
思考・判断・表現	1	【思考・判断・表現①】			
	7	【思考・判断・表現①】			
	8	【思考・判断・表現②】	A	B	B
	10	【思考・判断・表現②】			
		<b>単元の総括的な評価</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
主体的に学習に取り組む態度	2	【主体的に学習に取り組む態度①】			
	6	【主体的に学習に取り組む態度①】	A	B	C
	10	【主体的に学習に取り組む態度②】	A	A	B
		<b>単元の総括的な評価</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>B</b>